### (2025年度) 地域連携推進会議 会議録

事業所名	「ゼノ」Home未来		
サービス種別	共同生活援助(介護サービス包括型)		
開催日時	2025年10月23日(木)10:00~11:00		
開催場所	「ゼノ」Home未来		
出席者	利用者		2名
	利用者保護者		1名
	地域関係者		2名
	※福祉に知見を有する方		
	※経営に知見を有する方		
	※行政関係者		2名
	事業所職員		10名
			10/1
記録者	-	サービス管理責任者	

### 地域の清掃活動には、職員だけでなく利用者さんもできる範囲で参加してい ます。掃除をしながら地域の方々と話をしたり、一緒に作業したりすること で、自然に交流の機会になっています。

### (1) 利用者と地域との 関係作り

地域の方からは、「一緒に清掃してくれて助かっています」「亥の子祭りや とんど祭りなど、いろいろな行事に参加して楽しんでほしい」という温かい 言葉をいただきました。

また、利用者さんの多くが山南小学校で開かれる「山南祭り」を楽しみにし ており、今年もたくさんの方が参加しました。こうした地域の行事を通し て、少しずつ地域の方々とのつながりが深まっています。

# の促進

利用者さんの様子や日々の活動を紹介する「ホーム便り」を毎月発行してい ます。昨年度からは、山南学区のみなさんにも読んでいただけるように全体 (**2**) 地域の人への施設 | に配布や回覧を行っています。

**等や利用者に関する理解**┃掲載するときは、利用者さんやご家族の了承を得たうえで、顔写真や性格、 得意なこと、日中の活動内容などをを紹介しています。

> この取り組みにより、地域のみなさんに事業所や利用者さんのことをより 知ってもらい、安心して交流できる関係づくりを続けています。

(3)施設等やサービス の透明性・質の確保	事業所では、利用者さんやご家族に対して、支援の内容や生活の様子を分かりやすく説明するように心がけています。 「ホーム便り」などを通じて情報をお伝えし、必要に応じて話し合いの場を持つなど安心してサービスを受けていただけるよう取り組んでいます。また、日ごろから学びを深められるよう、勉強会や研修を行い、記録の整理や安全管理にも力を入れています。こうした取り組みを通じて、より良い支援と安心できる環境づくりを目指しています。
(4)利用者の権利擁護	意思決定の支援については、できる限り利用者さん自身で選んでいただけるようにしています。 言葉でのやり取りが難しい方には、イラストや写真を見て選んでもらったり、表情やしぐさなどから気持ちをくみ取る工夫をしています。 また、言葉や表情だけでは本当の気持ちが分かりにくい場合もあるため、職員同士で日々の様子をよく話し合いながら、その方に合った支援の方法を考えています。
(5) その他(利用者・ ご家族より)	利用者さんより ・カラオケが好き、百恵ちゃんが好き。  ご家族より ・衝動的に行動してしまうことがあり、地域の方にはご迷惑をおかけして います。「ゼノ」Home未来があるから、安心して仕事が出来ており、職員 の皆さまには感謝しています。

・以前小学校に勤務していたことがあり、利用者の方々をよく知っていま す。利用者さんの今後について気になっていましたが、地域にグループ ホームができ、利用者さんにとって良い生活の場だと感じています。

## 者より)

(**5) その他(地域関係 │・**地域の清掃活動に参加していただき助かっています。出来る範囲で地域 |行事に協力してもらいながらお互いに理解を深めていければと思っていま す。

> ・以前は、そうめん流しやとんど祭りの際にぜんざい、亥の子祭りの際に カレーなどを用意していましたが、最近は自重しており利用者と一緒に楽し める機会が減っているので残念に思っています。

### 質問(行政関係者より)

・通院支援についてどのように取り組んでいますか。

### 回答(事業所職員より)

- ・毎回、職員が付添っています。
- ・スケジュールを各職員で共有し、日々のシフトにも反映しています。

### 質問(地域関係者より)

### (5) その他 (質疑応 答)

・介護認定は取得していますか。

### 回答(事業所職員より)

- ・現在、介護認定を受けている利用者さんはいません。
- ・これからは、生活の場では障がい福祉のサービスを、日中の活動では介 護のサービスを利用される方が増えていくと考えられています。そのため、 今後の大切な課題のひとつとなっています。
- ・介護の事業所とも協力し、定期的に勉強会を開いて、お互いの支援方 法や連携の仕方を学び合っています。

### (1) 利用者と地域との関係作り

施設等の利用者が地域の一員として生活を送るためには、利用者と地域との関係づくりが重要です。会議 や構成員による施設等への訪問を通じて、利用者と地域の人との顔の見える関係を構築することで、日頃 からお互いに声を掛け合えたり、利用者が地域行事に参加しやすかったりするような、利用者が地域の中 でより良い生活を送るための関係づくりを目指します。

### (2) 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進

地域連携推進会議は、その名称からもわかるように、会議の開催や会議の構成員による施設等への訪問を 実施することにより、地域に開かれた施設等になることを目指す会議体です。地域に開かれた施設等とな ることで、施設等や障害のある方の施設等での生活に対する理解を促進するとともに、施設等やその職員 と地域の人との繋がりづくりを推進することを目的としています。

また、施設等の職員が地域の人を知るきっかけにもなり、施設等と地域の人の双方向による理解醸成が図られます。こうして地域との連携が深まることで、地域での事業運営がしやすくなり、効果的な事業運営に繋がることが期待されます。

### (3) 施設等やサービスの透明性・質の担保

障害福祉サービスの質の確保・向上については、従来から重要な課題として様々な議論がなされてきました。基本的には、人員、設備及び運営に関する基準において、質が担保されている一方、サービス類型ごとに更なる質の向上の取組みがなされています。例えば、児童発達支援や放課後等デイサービスについては、支援の質の向上を図るため、独自のガイドラインが策定されています。また、日中サービス支援型のグループホームは、地域に開かれたサービスとすることにより、当該サービスの質の確保を図るため、

(自立支援)協議会に対し定期的に事業の実施状況を報告し、評価を受けるとともに、当該協議会から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならないこととされています。

通所系のサービスと比較すると、外部の目が入りにくくなりがちな施設等を運営する事業者についても、 地域に開くことにより施設等の運営やサービスの透明性を確保するため、地域の関係者等を含めた構成員 による地域連携推進会議の開催及び当該構成員が地域連携推進員として施設等を訪問する仕組みの構築が 重要となります。

### (4) 利用者の権利擁護

施設等では、利用者が障害により言葉で意見を伝えることが難しい場合も多いため、利用者の思いがサービスに活かされているか、利用者が希望する生活を送ることができているかなど、会議の中で話し合われることが重要です。なお、意見表出そのものが難しい利用者に対して、施設等側としても利用者の意思決定支援にどのように取り組んでいるか等を、地域の人に伝える良い機会にもなります。

### (2025年度) 地域連携推進会議 見学会議録

事業所名	「ゼノ」Home未来		
サービス種別	共同生活援助(介護サービス包括型)		
開催日時	2025年10月23日(木)11:00~12:00		
開催場所	「ゼノ」Home未来・「ゼノ」Home輝・「ゼノ」Home翼		
出席者	利用者		2名
	利用者保護者		1名
	地域関係者		2名
	※福祉に知見を有する方		
	※経営に知見を有する方		
	※行政関係者		2名
	事業所職員		10名
			10/1
記録者	サービス管理責任者		

(1)事業所の雰囲気	・普段は給付に関わる仕事をしていて、現場の様子を見るのは初めてだったので、楽しみにしていたという声がありました。 ・会議に参加していた利用者さんについて、「行事や散歩のときによく見かけ、明るく挨拶をしてくれています。」との感想があり、事業所全体の明るく穏やかな雰囲気が伝わっていました。  ※「ゼノ」Home翼は松永地区にあり遠いため、今回は事前に用意した動画と写真での説明としました。
(2)利用者・職員の様子	・地域の清掃活動では、職員が利用者さんを見守りながら安全に作業を 行っており、地域の方から「地域としても助かっています」との意見を いただきました。 ・利用者さん一人ひとりに合わせた支援や関わりが見られ、安心して地域 の中で生活できている様子がうかがえました。

- ・利用者さんの部屋について、「想像していたより広く、それぞれの特徴 が出ており、生活の工夫が感じられます」との感想がありました。
- ・非常階段について、「無断で外へ出る心配はないですか」との質問があり、職員から安全管理や日ごろの見守り支援について説明がありました。

### (3) 建物について

- ・共用のキッチンについては、「利用者さんだけでIHヒーターを使うことはありますか」という質問があり、職員から「基本的には支援者が付添って使用しており、一部の利用者さんは、見守りのもとで簡単な夜食を作ることもあります」との説明がありました。
- ・利用者さんの自立を大切にしながらも、安全に配慮した支援体制を取っていることが共有されました。

### 質問(地域関係者より)

・松永にある「ゼノ」Home翼について、支援に違いはありますか。

#### 回答(事業所職員より)

- ・「ゼノ」Home翼を利用している方は、自立している方が多い一方で、 職場での人間関係に悩むこともあり、心のケアが大切になっています。
- ・また、一般の職場で働いている方や他の事業所に通っている方も多く、 働くことをサポートする就労支援も重要な割合を担っています。

#### 質問(行政関係者より)

・「ゼノ」Home翼の職員体制について教えてください。

### 回答(事業所職員より)

- ・基本的には職員1名が交代して勤務しています。
- ・職員室は1階にあり、利用者が使える共有スペースも兼ねています。

#### 質問(行政関係者より)

・保護者間のつながりについて教えてください。

### (4) その他 (質疑応答)

#### 回答(事業所職員より)

・保護者会があり、以前は毎年、全体で集まる保護者総会を行っていましたが、最近はご家族の高齢化もあり、集まることが難しくなってきています。

### 地域参加者より

・年間の様々な行事に参加いただき、楽しく生活を送っていただきたいと 思っています。

### 相談(事業所職員より)

・駐車場の出入り口がある幹線道路は交通量が多く、車のスピードも出やす く危険なので、何か安全対策ができないでしょうか。

### 回答(地域関係者より)

・「警察の交通安全協会にに相談して、交通安全の旗や看板の設置などを検討してみましょう」との提案をいただきました。